

歴史的音源

デジタルで聴く明治・大正・昭和の音

利用者用インターネット端末で「歴史的音源」をご利用いただけます。

「歴史的音源」とは？

「歴史的音源」とは、歴史的音盤アーカイブ推進協議会 (HiRAC) がデジタル化した、1900年初頭から1950 年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源です。全音源数は、約5万音源です。

含まれる音源

落語、長唄、楽曲(ギター、琴、尺八等)、歌劇、浄瑠璃(義太夫節、清元節、常磐津節)、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズ等、様々なものが含まれています。音源提供者は、日本放送協会(NHK)、日本コロムビア、ビクターエンタテインメント、キングレコード、テイチクエンタテインメント、ユニバーサルミュージック(EMI ミュージック・ジャパン分を含む) です。

利用するには

「インターネット端末利用申込書」に記入してお申し込みください。(備えつけのヘッドフォンをご利用ください)

なお、複製やダウンロードはできませんので、ご了承ください。

例

『謡曲 羽衣』(ニッポノホン、1910 頃) 謡:宝生九郎

『落語 うどんや』(コロムビア、1922) 落語:柳家小さん(3 代目)

『富岡先生(新国劇)』(ビクター、1928) 原作:国木田独步、脚色:真山青果、出演:沢田正二郎ほか

『演説 普通選挙について』(コロムビア、1928) (ニッポノホン、1928) 演説:尾崎行雄

『君恋し』(ビクター、1929) 作詞:時雨音羽、作曲・編曲:佐々紅華、歌:佐藤千夜子

『地震の話』(ビクター、1930) 講演:今村明恒(理学博士)

『丘を越えて』(コロムビア、1931) 作詞:島田芳文、作曲:古賀政男、歌:藤山一郎

『大大阪地下鉄小唄』(ビクター、1933) 作詞:平塚米次郎、作曲:橋本国彦、歌:筆香

『魔王』(ビクター、1935) 作詞:ゲーテ、作曲:シューベルト、訳詞:堀内敬三、歌:四家文子

『新しき夜』(コロムビア、1943) 作詞:サトウハチロー、作曲:服部良一、歌:李香蘭

『桑港のチャイナ街』(ビクター、1950) 作詞:佐伯孝夫、作曲・編曲:佐々木俊一、歌:渡辺はま子

『乙女の祈り』(キングレコード、1960) 作詞:音羽たかし、作曲:宮川泰、歌:ザ・ピーナッツ